

平成22年8月2日

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

学振大学・理学部・教授
学振 一郎

[印]

平成22年度科学研究費補助金（基盤研究（B））について、下記のとおり補助事業者を変更したいので、ご承認くださるようお願いいたします。

記

1. 変更内容

- a 研究代表者の交替
- b 研究分担者の変更

2. 課題番号

2 2 3 4 5 6 7 8

3. 研究課題名

〇〇に関する研究

4. 交付決定額

合計	13,000,000 円
直接経費	10,000,000 円
間接経費	3,000,000 円

5. 補助事業者及び役割分担

変更前（旧）		変更後（新）		
研究代表者	研究者番号	機関番号	所属番号 職番号	
	氏名	所属研究機関・部局・職		
	1 0 3 4 5 6 7 8	2 3 2 3 5 2 5 0 2 0		
	学振 一郎	学振大学・理学部・教授		
	役割分担	直接経費（研究者別内訳）		
研究の総括	5,000,000円			
研究分担者	研究者番号	機関番号	所属番号 職番号	
	氏名	所属研究機関・部局・職		
	2 0 3 4 5 6 7 7	1 2 3 4 5 2 5 1 2 0		
	文科 太郎	文科大学・理工学部・教授		
	役割分担	直接経費（研究者別内訳）		
〇〇の分析	3,000,000円			
研究分担者	研究者番号	機関番号	所属番号 職番号	
	氏名	所属研究機関・部局・職		
	9 0 7 6 5 4 3 2	1 2 3 4 5 2 5 1 2 7		
	一番町 陽子	学振大学・理工学部・准教授		
	役割分担	直接経費（研究者別内訳）		
〇〇の調査	1,500,000円			
研究分担者	研究者番号	機関番号	所属番号 職番号	
	氏名	所属研究機関・部局・職		
	役割分担	直接経費（研究者別内訳）		
	円			

研究代表者の交替の場合

研究分担者の削除の場合

研究分担者の追加の場合

研究分担者	研究者番号								機関番号			所属番号		職番号		研究分担者	
	氏名								所属研究機関・部局・職								
	2	0	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	7	2	5		1
	虎ノ門 慎也								育休大学・理工学部・教授								
	役割分担								直接経費（研究者別内訳）								
	〇〇の作成								500,000円								

6. 事実発生（予定）年月日及び変更理由

(1) 事実発生（予定）年月日

- 研究代表者の交替 : 平成22年10月1日
- 研究分担者の削除 : 平成22年8月31日
- 研究分担者の追加 : 平成22年9月1日

(2) 補助事業者の変更が生じた理由

- 研究代表者の交替 : 研究代表者である学振一郎は、平成22年10月1日付で米国〇〇研究所へ異動する予定であり、科学研究費補助金の応募資格を喪失するため。
- 研究分担者の削除 : 研究分担者の一番町陽子は9月1日より、産休に入る予定であるため。
- 研究分担者の追加 : 研究分担者から外れる予定である一番町陽子の行っていた〇〇の調査について、代わりに実施するため。

7. 研究分担者の変更にかかる確認事項

(1) 研究分担者を削除しても研究計画の遂行に支障がない理由（削除の場合のみ）

従来、一番町陽子が行っていた〇〇の調査は、新たに追加する予定の半蔵門隆志が実施する予定であり、研究計画の遂行には支障がない。なお、本人の承諾は得ている。

(2) 新しく研究分担者として追加する者の適格性（追加の場合のみ）

新しく研究分担者として追加する半蔵門隆志は、一番町陽子と同じ分野の研究者であり、〇〇など優れた〇〇をあげており、研究分担者として適任である。なお、本人の承諾は得ている。

8. 研究代表者交替にかかる確認事項

(1) 研究代表者を変更しても研究計画の遂行に支障がない理由

新しく研究代表者となる予定の文科太郎は研究分担者として当初から研究に参画しており、内容についても熟知している。また、今後、緊密に連絡をとって研究を実施していく予定であり、研究計画の遂行には支障がない。

(2) 新しく研究代表者になる者の研究代表者としての適格性

文科太郎は、これまでも〇〇に関する研究について、優れた成果をあげている。また、〇〇の研究に関して研究リーダーとして研究を行った実績があり、研究代表者として適任である。

(3) 新しく研究代表者になる者の略歴（研究歴を含む）及び研究成果公開発表状況について

H12～〇〇大学〇〇学部助教、H17～学振大学理工学部准教授、H20～学振大学理工学部教授
 〇〇分野において、主要な論文誌に論文が掲載されるなどの研究実績を有している。

(4) 新しく研究代表者になる者の了解

新しく研究代表者となることについて承諾します。

研究代表者氏名 文科太郎 [印]

様式 C-9 【作成上の注意】

1. この申請書は、交付決定後、研究代表者の交替又は研究分担者を追加、削除しようとする場合にA4判・両面印刷（縦長）で作成し、変更前の研究代表者（ただし、研究代表者が欠けた場合には、研究分担者の総意により、補助事業の継続を希望する場合には、変更（予定）後の研究代表者）が作成し、所属する研究機関を経由して提出すること。

また、本様式の提出にあたっては、交付申請書の写（この研究課題が補助事業者を変更している場合は、交付申請書及び当該補助事業者変更承認申請書の写）を一部添付すること。

なお、実際の補助事業者変更は承認が下りた後となるので、研究分担者を追加した場合等の分担金の送金手続きなど必要な手続きは承認後に行うこと。

2. 「1. 変更内容」のうち該当する事項を選んで○を付すこと。

3. 「a 研究代表者の交替」については、次のとおり交替を行おうとするものであること。なお、本申請書は事前に作成し、提出すること。

・「新規」の研究課題

研究計画調書に記載の研究分担者から研究代表者への交替

・「継続」の研究課題

前年度の実績報告書に記載がある研究分担者から研究代表者への交替

4. 「4. 交付決定額」欄には、交付決定通知書に記載された当該研究課題の交付決定額を記入すること。なお、間接経費の交付を受けていない場合は、間接経費欄に「0」を記入すること。

5. 「5. 補助事業者及び役割分担」欄には、研究代表者・研究分担者の氏名（研究者番号）、所属研究機関・部局・職（機関番号・所属番号・職番号）及び役割分担の具体的内容を、「変更前（旧）」、「変更後（新）」の各補助事業者についてそれぞれ記入すること。なお、当欄については、必要に応じて様式の記入欄を追加しても差し支えない（様式全体で2枚以上の構成も可）。

交付決定後、本申請書提出までに補助事業者が所属機関を変更している場合、「変更前（旧）」「変更後（新）」欄には、変更後の研究機関名等を記入すること。

○作成にあたっては、以下を踏まえ記入例を参照し、作成すること。

・研究代表者を「交替」しようとする場合は、変更前の研究代表者について、「変更前（旧）」に必要事項を記入の上、「変更後（新）」の直接経費欄に使用額を記入すること。使用額がない場合には「0」を記入すること。また、新しく研究代表者になる研究分担者について、「変更前（旧）」欄に必要事項を記入の上、「変更後（新）」を研究代表者欄とし、必要事項を記入すること。

・研究分担者を「削除」しようとする場合は、当該研究分担者について「変更前（旧）」欄に必要事項を記入の上、「変更後（新）」の研究分担者欄に斜線を付し、「削除」と記入すること。なお、使用額がある場合には、「変更後（新）」の直接経費欄に使用額を記入すること。使用額がない場合には「0」を記入すること。

・研究分担者を「追加」しようとする場合は、当該研究分担者について「変更後（新）」の研究分担者欄に必要事項を記入すること。なお、「変更前（旧）」の分担者欄を空欄とし、斜線を付すこと。

6. 「6.（1）事実発生（予定）年月日」欄には、補助事業者が欠けたり、退職等により研究ができなくなる年月日を記入すること。また、研究分担者を追加する場合には、研究分担者の追加を希望する日を記入すること。

「6.（2）補助事業者の変更が生じた理由」欄には、できる限り具体的に理由を記入すること。（所属機関の変更があるものはその変更先も記入すること。）

7. 研究代表者は、研究分担者を変更（追加・削除）しようとする場合には、当該研究者本人の承諾を得た上で7.（1）～（2）についてできる限り具体的に記入すること。

研究分担者を「追加」しようとする場合は、当該研究者から別途「研究分担者承諾書（様式C-11）又は（様式C-12）」を徴収すること。

○記入にあたっての注意点

- （1）・・・研究分担者を削除しても研究計画の進捗、目的達成について支障がない理由等について記入すること。
- （2）・・・研究分担者を追加することにより得られる効果、分担者としての適格性、当該研究課題との関係等について記入すること。

8. 研究代表者を交替しようとする場合には、交替前の研究代表者は、新たに研究代表者となる研究者の了解を得た上で、8.（1）～8.（3）についてできる限り具体的に記入すること。

また、8.（4）については、新たに研究代表者となる者の押印の上、提出すること。

○記入にあたっての注意点

- （1）・・・研究計画の進捗、目的達成について支障がない理由等について記入すること。
- （2）・・・研究課題との関連性、研究遂行能力、当該研究課題のみならず全ての業務量を踏まえて本事業の遂行が可能であるとする理由等について記入すること。

9. 「課題番号」欄について

科学研究費補助金の交付決定通知に記載の課題番号（8桁）を記入すること。

「特別研究員奨励費」の場合は、「課題番号」欄には交付決定通知書に記載された課題番号を右詰で記入すること。

(例)・外国人特別研究員の場合

{2|1|・0|1|2|3|4|}